

# 西荻北銀座商友会の 楽しみ方

コロナに  
負けない!

## 飲食店・食品

お店での飲食はちょっと不安だな、という方は、テイクアウトや出前でお店の味をお楽しみください。(裏の地図面をチェックしてみてくださいね)もちろん各お店でも、出来る限りの感染対策を準備して、お客さまのお越しをお待ちしています。お客様自身も、検温、手指消毒、飲食時以外のマスク着用等、お店の指示にしたがって、安全にお過ごし下さるよう、ご協力をお願いいたします。

なかなか会えない大切な人や身近な家族やご自分にも、ちょっと好きなもの、素敵なものギフトにして、選んだり贈ったり。アートに触れてほつとしたりわくわくしたり。短時間でも、リフレッシュして、免疫力も高まるはずです。お店に足を運べない時は、ネット通販サイトなどご利用ください。体調に自信のないときはけして無理をせず、余裕のあるときにお立ち寄りください。

## 雑貨・衣料品 アンティーク・ギャラリー

お家で過ごす時間が増えたこの機会に、布団など大きなもののクリーニングや、大切な衣類のメンテナンスなどはいかがですか。お電話で集配にも伺います。

## クリーニング・リフォーム

などリフォームの相談などもできますよ。また、リモートワークで家のなかに仕事スペースを作りたいときなど気持よく過ごして健康に◎。

# 西荻北銀座商友会の今昔マップ

## 北銀座通りのこと

中央線に西荻窪駅が設置されたのは大正11(1922)年7月15日。当時この一帯は大根畠ばかりだったそうです。人口増加を予想して農道の区画整理を手がけたのが、当時の井戸村村長・内田秀五郎(うちだ・ひでごろう)。善福寺公園の銅像の人です。内田村長は村民を説得しながらわずか10年で88haの区画整理を成し遂げ、青梅街道から駅に向かう道も曲がりくねったものであったのをまっすぐ整備し、現在の北銀座通りの原型となる道が作られました。

また内田氏は、現在の桃井原っぱ公園の場所に、中島飛行機の工場を誘致(大正14(1925)年開所)。北銀座通りは駅から工場への通勤ルートとなり、急速に商店街が発展してきました。

## 西荻北銀座商友会

昭和7(1932)年ころより、駅から善福寺川までを一つの商店会として組織されていましたが、昭和35(1960)年頃より、現在と同じ3商店会(青梅街道から商友会・本町会・銀商會)に分かれました。荻窪八幡神社の祭礼では、3商店会が「北連合」として合同で御輿を出すなどしています。

西荻北銀座商友会では、2018年より10月末に「ハロウィン」イベント、12~2月には「西荻イルミ」のライトアップを実施するなど、地域の皆様に商店会をより楽しんでいただけるよう奮闘中です。



かつてはガソリンスタンド、そのあとはモスバーガーになり、また、料理研究家の小林カツ代さんのお店があつたりと、変遷に時代を感じる場所。杉並区郷土博物館の企画「杉並にあった映画館」目録によると、戦前はここに「西荻富士館」という映画館があったのだと。



昭和39(1964)年、東京オリンピックの年にはまだ、プラタナス並木もガードレールもありません。車両も少なくのんびりした雰囲気。

参考資料:「杉並にあった映画館」(杉並区立郷土博物館 2015) / 「杉並の川と橋」(杉並区立郷土博物館 2009) / 「杉並区史」(杉並区 1955) / 「新修杉並区史」(杉並区 1982) / 「杉並風土記上」(杉並区史会 1977) / 「井荻町誌」(社会基調協会 1928) / 「杉並の地図をよむ」(杉並区立郷土博物館 2002) / 「杉並の通称地名」(杉並区教育委員会 1992) / 「東京都市計画物語」(越澤明 ちくま学芸文庫 2001) / 「杉並区商業名鑑」(杉並区商店会連合会 2007) / 「航空住宅地図 杉並区版」(公共施設地図航空株式会社 1971-1987)

取材協力:カラキヤ/理容スター/杉並土木事務所



## プラタナス並木のこと

プラタナスは落葉樹。スズカケノキ(鈴懸)といわれることも。鈴懸とは山伏の装束にある房(ほんばん)のこと、プラタナスの実がそれにそっくり、樹皮が不規則にはがれて迷彩模様になります。また、大きな葉で夏は木陰をつくり、冬は葉を落とし日を通すから、多く街路樹に用いられています。パリのシャンゼリゼ通りもプラタナス並木です。生育が早くあまり根を張らないのが特徴。

北銀座通りのプラタナス(モジバスズカケノキ)がどのような経緯でいつ植えられたのか、杉並区土木事務所に問い合わせたのですが、記録は残っていませんでした。ただ、写真資料などから昭和40年代前半に植えられたらしいということはわかっています。

戦中に灰田勝彦が歌った『鈴懸の径』や、昭和44年にヒットした『旅』(はしだのりひことシーベルツ)の歌詞にも出てくるなど、プラタナスは長く人気がありました。でも最近は街路樹も「在来種」を重視する傾向。プラタナス並木は次第に珍しいものとなっていくかもしれません。



## お客様各位

2020年はほぼ全世界中の誰にとっても大変な年となりました。西荻窪の個人店もじっと耐え忍ぶ年です。

けれど、この商店会もいろいろな時代や季節を過ごしてきたと思いをはせると、この嵐もいつかは過ぎ、あの頃は大変だったね、と思い出すひとときのことであると信じています。

ですから、お客様も店も、コロナなどに負けず、またともにいろいろなイベントが楽しめる、心置きなく飲食店でおしゃべりできる、ショッピングでまち歩きを楽しめる日が来るまでの間、工夫しながら心身とともに健やかに過ごしていましょう。

店のスタッフもお客様もマスクでのやりとりが当たり前の風景となりましたが、マスクの下はいつも変わらぬ笑顔で、西荻北銀座商友会一同、みなさまのお越しをお待ちしております。また重ねて、医療従事者の皆さん、商店街を応援してくださる方々に心より感謝します。

西荻北銀座商友会 会長

木 通 代 雅 次

(洋食のみかさ)